

事務事業名	スポーツ大会開催事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		スポーツ・運動		
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和34年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	5,300	4,767	5,100
	人件費	6,914	7,225	7,225
目 的	総事業費	12,214	11,992	12,325
スポーツ選手権大会や大和市駅伝競走大会、スポーツフェスタを行うことで市民の体力向上及び競技力向上を図り、スポーツに関わる人を増やします。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・大和市民総合スポーツ選手権大会、大和市駅伝競走大会、スポーツフェスタを開催します。 ・大和市民ゴルフ大会（年2回）、大和市民まつりスポーツイベントの開催を支援します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		1,133
		一般財源		3,967
		合 計		5,100

3. 活動内容

活動指標1	名称	大会等開催回数		単位	回
	内容説明	主催・委託・支援した大会の回数			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	6	6	6
		実 績	6	5	---
活動指標2	名称	広報掲載回数		単位	回
	内容説明	大会の告知及び結果の掲載			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	5	5	5
		実 績	5	5	---
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			---
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			---

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	7年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・参加者の増加につながるように、企画内容を見直すとともに、参加者の安全面に配慮する観点を持ちながら大会を開催し、スポーツへの関心を高めていきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	5年度	6年度	7年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	スポーツに関わる人を増やし、市民の健康を向上させるには、スポーツに触れることのできる場をより広く、かつ継続的に提供できるよう、各種スポーツ大会に関与していく必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	5年度	6年度	7年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	多くの市民に参加いただき、十分に成果を上げています。今後も企画内容等を見直しながら大会を開催していくことで、さらに参加者を増やします。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	5年度	6年度	7年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	各種団体の協力により、適正な水準で大会・イベントが実施されています。また、駅伝競走大会では、スポーツ振興くじ助成金を受けて、経費の節減が図られています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	5年度	6年度	7年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	希望する市民が参加可能であり公平性を保っています。また、誰もが参加しやすい内容となるように努めています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	5年度	6年度	7年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	広報やまとやホームページをはじめ、各種広報手段を有効に活用し、多くの参加者を得られるように努めています。

事務事業名	スポーツ教室開催事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツのまち推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち	
	施策分野		スポーツ・運動	
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている	
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和39年度			
				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市民			6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）	
		事業費	7,007	7,655	6,212	
		人件費	1,538	1,606	1,606	
目 的		総事業費	8,545	9,261	7,818	
スポーツ教室の実施により、市民がスポーツに触れる機会を提供することで、スポーツへの参加を促進し、スポーツに関わる人が増えることを目指します。		8年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		6,212		
		合 計		6,212		
手段、手法【実施手法：委託】						
各種団体が独自で取り組むことが難しい種目や、多様なライフスタイルに合わせた教室を開催します。						
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	開催種目数			単位	種目
	内容説明	各教室で開催した種目数				
	指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	12	13	10	
		実 績	12	13	— — —	
活動指標 2	名称	開催延べ教室数			単位	教室
	内容説明	開催延べ教室数				
	指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	17	18	13	
		実 績	17	18	— — —	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定				
		実 績			— — —	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定				
		実 績			— — —	
課 題						
・日頃スポーツを「する」機会が少ない市民が、継続的にスポーツを続けられる環境を整える取り組みが必要です。						

4. 今後の方針等						
今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	7年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・運動機会が得にくい子育て世代、働く世代にも広く参加してもらえるよう市民の関心が高い種目を選定するとともに、開催日程にも配慮します。 ・委託先であるスポーツ・よか・みどり財団が中心となり、スポーツ教室での体験から、スポーツ・よか・みどり財団の自主事業や総合型地域スポーツクラブ等で、継続的にスポーツを楽しむことができる環境を整えます。 ・申し込み方法の利便性を図り、参加しやすい教室にするほか、告知方法等の見直しを検討し、情報を広く市民に届け、定員に満たない事業の参加者数増加に努めます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	5年度	6年度	7年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	子育て世代、働く世代、障がいの有無にかかわらず、すべての市民が気軽に生涯にわたってスポーツを行いやすい環境を整える必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	5年度	6年度	7年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	定員に満たない教室について、種目内容の変更や、気軽に参加しやすいように教室名を変更する等、参加者が増えるよう努める必要があります。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	5年度	6年度	7年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	委託事業としており、効果的かつ効率的に事業を実施しています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	5年度	6年度	7年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	市民の誰もがスポーツに取り組む機会を提供することを目的としていることから、参加料は、無料が適当と考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	5年度	6年度	7年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	すべての市民が参加しやすいよう各種広報手段を有効に活用し、多くの参加者を得られるように情報提供を行っています。

事務事業名	スポーツ関係団体支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツのまち推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		スポーツ・運動		
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和27年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
大和市社会体育関係団体		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	4,110	4,096	4,126
	人件費	5,355	5,606	5,606
目 的	総事業費	9,465	9,702	9,732
社会体育関係団体に対し活動支援を行い、各団体の事業運営安定化を図り、地域や多世代へスポーツを推進することでスポーツに関わる人が増えることを目指します。 手段、手法【実施手法：直営】 大和市社会体育関係団体補助金交付要綱により大和市地区体育振興会、大和市スポーツ協会、大和市スポーツ少年団本部、大和市レクリエーション協会、大和市軽スポーツ協会に補助金を交付します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		4,126
		合 計		4,126

活動指標1	名称	スポーツ少年団本部登録団体数			単位	団体
	内容説明	スポーツ少年団本部への総登録団体数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	13	14	13	
		実 績	14	14	―――	
活動指標2	名称	スポーツ協会加盟団体数			単位	団体
	内容説明	大和市スポーツ協会への各種目加盟団体総数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	24	24	23	
		実 績	24	24	―――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・多くの市民がスポーツに親しむことができるよう、引き続き関係団体の活動を支援していきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	5年度	6年度	7年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	市のスポーツ推進に不可欠な、地域や様々なスポーツ活動を支えている社会体育団体に対して、その活動支援や運営補助等で積極的に関与していく必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	5年度	6年度	7年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	各団体が効率的に事業を実施しており、成果が上がっております。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	5年度	6年度	7年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	限られた事業費の中で効率的に執行されており、経費は適正な水準です。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	5年度	6年度	7年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	本市のスポーツ推進及び活性化を目的とした事業であり、各団体に助力いただく立場にあることから、負担の適正化を求めるものではありません。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	5年度	6年度	7年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	事業費を適切に活用し、多くの市民がスポーツに親しめるよう関係団体の活動を支援するとともに、様々な周知方法を活用し、情報提供を行っています。

事務事業名	スポーツセンター施設管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福土 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち	
	施策分野		スポーツ・運動	
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている	
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和61年度			
				設定無し

2. 事務事業の概要											
対 象		総事業費 (単位：千円)									
大和スポーツセンター体育会館・競技場			6年度（決算額）		7年度（決算額）	8年度（予算額）					
		事業費	216, 115		204, 493	259, 367					
		人件費	1, 538		8, 032	8, 032					
目 的		総事業費	217, 653		212, 525	267, 399					
大和スポーツセンター施設の管理運営を行い、良好なスポーツ施設環境を提供することでスポーツに関わる人を増やします。		8年度事業費（予算額）財源内訳									
		国支出金		0							
		県支出金		0							
		市債		0							
		その他		10, 435							
		一般財源		248, 932							
		合 計		259, 367							
手段、手法【実施手法：委託・指定管理】		3. 活動内容									
		活動指標 1	名称	開場日数			単位	日			
			内容説明	スポーツセンターの年間開場日数							
			指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度				
				予 定	347	347	347				
成 果（効果・予測）	実 績	347	347	－ － －							
	・市民が良好な環境の中で施設を利用できます。					活動指標 2	名称	利用者数			単位
内容説明							スポーツセンターの年間利用者総数				
指標値								6年度	7年度（当該年度）	8年度	
							予 定	400, 000	400, 000	400, 000	
課 題							実 績	387, 016	393, 231	－ － －	
	活動指標 3	名称				単位					
内容説明											
指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度						
		予 定									
・利用者数の増加に向け、効率的に運営していくことが必要です。また、施設が全般的に老朽化しており計画的な改修が必要な状況となっていることに加え、スポーツ競技用の備品の老朽化が進んでいるため、計画的な更新が必要です。	実 績			－ － －							
	活動指標 4	名称				単位					
内容説明											
指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度						
		予 定									
	実 績			－ － －							

4. 今後の方針等						
今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・老朽化が進んでいる施設の適切な維持管理、また、計画的な修繕を指定管理者と連携して行うことにより、施設利用者が安全・快適に施設を利用できるよう、環境整備を進めます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	5年度	6年度	7年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	公共施設の管理運営に関する事業であるため、市が関与する必要性は高いと考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	5年度	6年度	7年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	A	A	B	適正な施設管理運営を行っていますが、計画的な改修が進んでいない設備があります。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	5年度	6年度	7年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	平成18年度から指定管理者制度を導入しており、経費は適正な水準であると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	5年度	6年度	7年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	施設の態様に応じた受益者負担となっております。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	5年度	6年度	7年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	各種広報手段を活用し普遍的に情報提供をし、スポーツ施設予約システムを利用し利便性の向上を図っています。

事務事業名	ゆとりの森スポーツ施設管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		スポーツ・運動		
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成19年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
ゆとりの森スポーツ施設（芝生グラウンド・テニスコート・中規模・大規模・スポーツハウス）		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	51,902	65,434	71,822
	人件費	2,307	2,410	1,606
目 的	総事業費	54,209	67,844	73,428
ゆとりの森スポーツ施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供することでスポーツに関わる人を増やします。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金		0	
手段、手法【実施手法：指定管理】 施設の維持管理及び運営を指定管理により実施します。	県支出金		0	
	市債		0	
	その他		0	
	一般財源		71,822	
	合 計		71,822	

3. 活動内容

活動指標1	名称	利用可能日数			単位	日
	内容説明	施設の利用可能日数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	352	351	352	
		実 績	352	352	――	
活動指標2	名称	利用者数			単位	人
	内容説明	施設の利用者数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	135,000	135,000	135,000	
		実 績	135,910	131,707	――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・照明のLED化、大規模及び中規模多目的スポーツ広場の人工芝の張替えといった大規模改修が終了したことから、指定管理者と協力し、良質な利用環境の提供に努めます。 ・芝生グラウンドについては、引き続き適切なタイミングでエアレーションや除草作業等を実施し、良好な利用環境の維持に努めます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	5年度	6年度	7年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	公共施設の管理運営に関する事業であるため、市が関与する必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	5年度	6年度	7年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	指定管理者による適切な維持管理及び運営により、多くの市民の方にご利用いただいています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	5年度	6年度	7年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	指定管理制度の導入により、経費は適正な水準となっています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	5年度	6年度	7年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	施設の態様に応じた受益者負担となっております。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	5年度	6年度	7年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	各種広報手段を活用した情報提供や予約システムによる利便性の向上を図っています。

事務事業名	地域スポーツ推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツのまち推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		スポーツ・運動		
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成25年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	7,804	7,359	1,660
	人件費	7,690	8,032	6,426
目 的	総事業費	15,494	15,391	8,086
様々な年代の市民が主体的にスポーツに親しむ機会を提供し、世代を超えた交流を促し、スポーツに関わる人が増えることを目指します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営・委託】		県支出金		0
		市債		0
		その他		1,000
		一般財源		660
		合 計		1,660
・スポーツ関連イベントを実施し様々な場面で「する」「みる」「ささえる」「つながる」それぞれの分野からスポーツに親しむことができる機会を提供します。 ・総合型地域スポーツクラブの活動を支援します。 ・本市をホームタウンとする「横浜F・マリノス」との連携を図り、スポーツへの関心を高めます。				

成 果（効果・予測）	活動指標1	名称	総合型地域スポーツクラブ設置数		単位	団体
		内容説明	総合型地域スポーツクラブの設置数			
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
			予 定	3	3	2
			実 績	3	3	――
・より多くの人が、気軽にスポーツを楽しみ、世代を超えて交流する環境が整えられます。	活動指標2	名称	「夢の教室」実施クラス数		単位	クラス
		内容説明	「夢の教室」を実施したクラス数			
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
			予 定	68	64	0
			実 績	67	64	――
課 題	活動指標3	名称	出前講座「スポーツだいすき！」実施回数		単位	回
		内容説明	出前講座「スポーツだいすき！」を実施した回数			
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
			予 定	15	15	20
			実 績	18	21	――
・「する」「みる」「ささえる」といったスポーツへの関わりを促せるように、スポーツ情報等の発信やイベントの実施手法を継続的に調査研究する必要があります。	活動指標4	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
			予 定			
			実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	7年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・熱中症に配慮しながら、安全に事業を実施できるよう努めます。 ・他市との連携を図り、より広域的にスポーツを展開することで交流を促せる取り組みを進めます。 ・観戦スポーツの誘致、ホームタウンチームとの連携強化を行い、スポーツへの関心を高めます。 ・SNSを含む各種広報媒体を通じた情報提供を行うことで、より多くの市民がスポーツに触れる機会を創出します。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	5年度	6年度	7年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	近隣の綾瀬市と連携して実施する「大和・綾瀬スポーツフェスティバル」や話題性の高い種目を積極的に誘致し、市民のスポーツへの関心を高めることを目的とする「トップスポーツ観戦デー」等を通じて、多くの市民にスポーツを「する」「みる」機会を提供するためには、市の積極的な関与が必要となります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	5年度	6年度	7年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	イベント・教室の実施及び周知等を通じ、スポーツへの関心が低い方にも主体的にスポーツに取り組む環境を整え、進めいていくことが必要です。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	5年度	6年度	7年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	限られた予算の中で、効率的に執行しています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	5年度	6年度	7年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	様々な年代を対象とした複数の事業を通じて、幅広い市民を対象とする事業を実施することで、受益の公平性が図られています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	5年度	6年度	7年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	広報やまと等様々な広報媒体を活用することで、より多くの市民へ情報提供を行っています。

事務事業名	女子サッカー推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツのまち推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち	
	施策分野		スポーツ・運動	
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている	
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成24年度			
				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市民			6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）	
		事業費	5,422	4,860	4,280	
		人件費	3,845	4,016	4,016	
目 的		総事業費	9,267	8,876	8,296	
女子サッカーに関連する事業を実施し、女子サッカーに取り組む市民の活動を支え、女子サッカーを基軸としてスポーツに関わる人が増えることを目指します。		8年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		4,280		
		合 計		4,280		
手段、手法【実施手法：直営・委託】						
・「大和なでしこカップ」等、女子サッカーに関するイベントを開催します。 ・ホームタウンチーム「大和シルフィード」の活動を通じたシティセールスを展開するための支援を行います。 ・女子サッカーの環境整備を行うための調査、研究を行います。		名称	女子サッカー関連のイベント回数		単位	回
		内容説明	女子サッカー関連のイベントの実施回数			
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
			予 定	30	24	23
成 果（効果・予測）			実 績	32	24	――
・女子サッカー人口の増加とともに、女子サッカーに対する市民意識が高まります。 ・複数の事業を展開し、多くの少女や女性たちにサッカーやスポーツの楽しさを広めることで女子サッカーを基軸としたスポーツの推進につながります。		名称	女子サッカー関連イベントの参加者数		単位	人
		内容説明	女子サッカー関連イベントの参加者数			
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
			予 定	8,000	8,000	8,000
課 題			実 績	7,202	7,775	――
・女子サッカーへの関心が一時的なものとならないよう継続的な取り組み、支援が必要となります。		名称	「大和シルフィード」ホームゲーム平均来場者数		単位	人
		内容説明	「大和シルフィード」ホームゲーム平均来場者数			
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
			予 定	700	700	700
			実 績	432.2	488.1	――
		名称			単位	
		内容説明				
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
			予 定			
			実 績			――

4. 今後の方針等					
今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	7年度 Ⅱ：見直しのうえで継続
	・女子サッカー人口の裾野を広げるために、「大和なでしこカップ」の開催や女子小中学生や女性を対象とした体験会を継続的に開催し、女子サッカー事業の取り組みを定着させるとともに、より多くの方が、女子サッカーを「する・みる・ささえる」機会につなげられるよう開催方法等を検討していきます。 ・「女子サッカーのまち大和」の実現のため、他課との連携を図り、ホームタウンチーム「大和シルフィード」を活用するとともに、引き続き認知拡大に向けた支援を行います。 ・女子サッカー事業の成果を検証するとともに、「女子サッカーのまち大和」の将来的なビジョンについて検討していきます。				

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	5年度	6年度	7年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	女子サッカーのまちを目指すうえで、市が積極的に関与する必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	5年度	6年度	7年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	市で唯一ホームタウンチームに認定されている「大和シルフィード」が、女子プロサッカーリーグであるWEリーグ参入を目指しています。 市をホームタウンとする横浜F・マリノスや、他課事業との連携を図り、ホームタウンチームのさらなる認知拡大に努めます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	5年度	6年度	7年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	女子サッカー関連事業は、最低限かつ多くのボランティアスタッフに支えられて実施しており、経費は適正に執行されています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	5年度	6年度	7年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	女子サッカー関連事業は「する」「みる」「ささえる」「つながる」を含めたスポーツに関わる多くの市民を主体としており、受益の公平性は図られています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	5年度	6年度	7年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市内外に対して、様々な媒体を用いて広く情報発信を行いながら、「大和シルフィード」の活動を通じて、地域の活性化を図ります。

事務事業名	スポーツ大会選手派遣事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福土 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		スポーツ・運動		
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和27年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
大和市代表選手		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	172	171	172
	人件費	769	803	803
目 的	総事業費	941	974	975
各種大会に選手団を派遣し、本市代表選手の競技力向上を図るとともに、関係者間の交流を推進することでスポーツ活動に親しんでいる人を増やします。 手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・かながわ駅伝競走大会に本市代表選手を選出し、派遣します。 ※令和7年度は降雪によるコースコンディション不良（路面凍結）の為、開催中止。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			172
	合 計			172

3. 活動内容

活動指標1	名称	派遣選手数		単位	人
	内容説明	各種大会への選手派遣数			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	12	12	12
		実 績	12	0	――
活動指標2	名称	派遣役員数		単位	人
	内容説明	各種大会の役員派遣数			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	10	10	10
		実 績	10	0	――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・引き続き大和市代表選手の競技力向上に係る支援を行っていきます。					

事務事業名	スポーツ活動奨励事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツのまち推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		スポーツ・運動		
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和37年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
全国大会及び国際大会に出場する市内在住の個人・団体		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	688	606	825
	人件費	1,538	1,606	1,606
目 的	総事業費	2,226	2,212	2,431
競技力の高い者に奨励金を交付することで、選手の活動を支援し、スポーツに関わる人の増加につなげます。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
手段、手法【実施手法：直営】 ・全国大会及び国際大会に出場した個人・団体に奨励金を支給します。	市債			0
	その他			0
	一般財源			825
	合 計			825

3. 活動内容

活動指標1	名称	教育委員会表彰候補者選考会の開催数			単位	回
	内容説明	スポーツ振興の為、被表彰候補者を選考します。				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	3	3	3	
		実 績	3	3	――	
活動指標2	名称	奨励金交付件数（個人・団体）			単位	件
	内容説明	一定以上の成績を収めた選手等へ奨励金を交付した件数です。				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	70	84	85	
		実 績	87	75	――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	7年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・国内外を問わず、また、メジャースポーツ、マイナースポーツ、ニュースポーツなど、競技種目の多様化や各競技大会の規模の違いにも目を向けながら、引き続き交付基準の見直しに関して必要な情報を収集し調査・研究を進め、スポーツ活動の奨励を目的に広く支援を進めていきます。					

事務事業名	スポーツ施策管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツのまち推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		スポーツ・運動		
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和34年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費					(単位：千円)		
スポーツ推進に関連する施策		6年度（決算額）		7年度（決算額）		8年度（予算額）		
	事業費	231		142		214		
	人件費	3,076		3,213		2,410		
目 的	総事業費	3,307		3,355		2,624		
スポーツ推進審議会の審議を通じて、スポーツ推進施策の適正かつ効率的な実施を図り、スポーツに関わる人の増加につなげます。	8年度事業費（予算額）財源内訳							
		国支出金			0			
		県支出金			0			
		市債			0			
		その他			0			
		一般財源			214			
		合 計			214			
	3. 活動内容							
	活動指標 1	名称	スポーツ推進審議会開催回数				単位	回
		内容説明	スポーツ推進審議会の開催回数					
指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度			
		予 定	5	5	3			
		実 績	5	5	— — —			
活動指標 2	名称					単位		
	内容説明							
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度			
		予 定						
		実 績			— — —			
活動指標 3	名称					単位		
	内容説明							
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度			
		予 定						
		実 績			— — —			
活動指標 4	名称					単位		
	内容説明							
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度			
		予 定						
		実 績			— — —			
課 題	・スポーツをとりまく環境変化を踏まえた審議が今後必要となります。							

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・指定管理者の評価、スポーツ推進施策の進行管理に係る審議を行い、適正な施策等の検討を行います。					

事務事業名	学校施設スポーツ開放事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		スポーツ・運動		
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和51年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				(単位：千円)					
市内在住、在学又は在勤が2分の1以上を占める10名以上の団体		6年度（決算額）		7年度（決算額）		8年度（予算額）					
		事業費		29,399		7,487		9,960			
		人件費		9,228		8,032		8,032			
目 的		総事業費		38,627		15,519		17,992			
学校施設を活用して、利用団体にスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供し、スポーツに関わる人を増やします。		8年度事業費（予算額）財源内訳									
		国支出金		0							
		県支出金		0							
		市債		0							
		その他		4,258							
		一般財源		5,702							
		合 計		9,960							
手段、手法【実施手法：直営・委託】											
・小・中学校の校庭及び体育館等を登録団体に開放します。											
		学校施設を利用したい団体の登録手続きを行います。									
成 果（効果・予測）											
・小・中学校体育施設の開放により、身近な場所でスポーツに関わる人が増えています。											
課 題											
・校庭や体育館などの施設利用率が高くなっているため施設ごとの稼働率を考慮した利用方法等の検討を行っていく必要があります。											
		本事業の利用団体登録や校庭・体育館の利用申請等の在り方について、今後より良い方法を検討していく必要があります。									
3. 活動内容											
活動指標1		名称		校庭開放延件数				単位		件	
		内容説明		小・中学校すべての校庭開放の延べ件数							
		指標値		6年度		7年度（当該年度）		8年度			
				予 定		3,000		3,000		3,000	
活動指標2		指標値		実 績		3,429		3,257		――	
				名称		体育館・武道場開放延件数				単位	
活動指標3		内容説明		小・中学校すべての体育館・武道場開放の延べ件数							
		指標値		6年度		7年度（当該年度）		8年度			
				予 定		10,000		10,000		10,000	
		活動指標4		指標値		実 績		10,871		10,903	
名称						登録団体数				単位	
活動指標5		内容説明		小・中学校の開放利用登録団体数（夜間開放を除く）							
		指標値		6年度		7年度（当該年度）		8年度			
				予 定		430		430		430	
		活動指標6		指標値		実 績		371		353	
名称										単位	
活動指標7		内容説明									
		指標値		6年度		7年度（当該年度）		8年度			
				予 定							
		活動指標8		指標値		実 績					

事務事業名	野球場（下福田）施設管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		スポーツ・運動		
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和45年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
下福田野球場		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	8,005	7,958	9,516
	人件費	769	1,606	1,606
目 的	総事業費	8,774	9,564	11,122
野球場施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供することでスポーツに関わる人を増やします。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営・指定管理】		県支出金		0
		市債		0
		その他		29
		一般財源		9,487
		合 計		9,516
・下福田野球場の維持管理及び運営を指定管理により実施します。				

3. 活動内容							
活動指標 1	名称	利用者数				単位	人
	内容説明	野球場施設年間利用総人数					
	指標値		6年度	7年度	8年度		
		予 定	15,000	12,000	12,000		
		実 績	2,901	8,639	— — —		
成果（効果・予測）							
・ 市民が良好な環境の中で野球場施設を利用できます。							
活動指標 2	名称	利用可能日数				単位	日
	内容説明	年間利用可能日数					
	指標値		6年度	7年度	8年度		
		予 定	296	297	298		
		実 績	85	297	— — —		
活動指標 3	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		6年度	7年度	8年度		
		予 定					
		実 績			— — —		
活動指標 4	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		6年度	7年度	8年度		
		予 定					
		実 績			— — —		
課題							
・ 良好な施設環境保持のため計画的な維持補修が必要です。							

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・計画的な維持補修等を行うなど、指定管理者と連携して野球場施設の適正な管理運営を行うことで市民サービスの向上を図っていきます。 ・継続的に野球場として活用できるよう、施設（土地）所有者の意向について確認し、土地の取得について引き続き検討していきます。					

事務事業名	庭球場施設管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		スポーツ・運動		
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和54年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
草柳庭球場・渋谷西庭球場		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	3,361	3,495	6,657
	人件費	769	1,606	1,606
目 的	総事業費	4,130	5,101	8,263
庭球場を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供することでスポーツに関わる人を増やします。 手段、手法【実施手法：直営・指定管理】 ・草柳庭球場の維持管理及び運営は指定管理により実施します。 ・また、渋谷西庭球場の維持管理及び運営は地元団体により実施します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		6,657
		合 計		6,657

活動指標1	名称	利用可能日数（草柳庭球場）			単位	日
	内容説明	草柳庭球場の年間利用可能日数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	359	359	359	
		実 績	358	359	―――	
活動指標2	名称	利用者数			単位	人
	内容説明	草柳・渋谷西の2施設の年間利用者数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	60,000	60,000	60,000	
		実 績	54,093	52,921	―――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・草柳庭球場については、指定管理者と連携して施設の適正な管理運営を行い、引き続き利用環境の向上に努めます。					
	・渋谷西庭球場については、特に老朽化による修繕箇所の把握に努め、必要に応じて修繕を行い、利用環境の向上に努めます。					

事務事業名	スポーツ指導者育成支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツのまち推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		スポーツ・運動		
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和37年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
交付先：大和市スポーツ推進委員連絡協議会 大和市スポーツ推進委員、大和市社会体育振興委員		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	5,322	4,532	5,785
	人件費	3,076	3,213	3,213
目 的	総事業費	8,398	7,745	8,998
スポーツ機会の提供等を行う、スポーツ推進委員等の指導者を育成することで、地域のスポーツ活動の推進を図り、スポーツに関わる人が増えることを目指します。 手段、手法【実施手法：直営】 ・スポーツ推進委員などを各種大会・研修会に派遣し、指導能力を高め、地域スポーツ活動を活性化させていただきます。 ・大和市社会体育関係団体補助金交付要綱により、大和市スポーツ推進委員連絡協議会に補助金を交付し、団体の活動を支援します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		5,785
		合 計		5,785

3. 活動内容

活動指標1	名称	定例会回数		単位	回
	内容説明	全体定例会議の実施回数			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	5	5	5
		実 績	5	5	――
活動指標2	名称	各部会回数		単位	回
	内容説明	4専門部会及びフェスタ実行委員会の実施回数			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	25	24	24
		実 績	25	24	――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・スポーツ推進委員、社会体育振興委員の活動支援を通じて、市民がスポーツにふれあう場や機会を創出し、市民の体力向上と健康増進、さらには地域コミュニティの醸成を図ります。					

事務事業名	スポーツ広場管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福土 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		スポーツ・運動		
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和54年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
桜森スポーツ広場・下福田スポーツ広場・南林間スポーツ広場・深見歴史の森スポーツ広場		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	27,517	27,515	31,176
	人件費	769	1,606	1,606
目 的	総事業費	28,286	29,121	32,782
スポーツ広場を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供することでスポーツに関わる人を増やします。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営・委託・指定管理】 ・桜森スポーツ広場、下福田スポーツ広場の維持管理及び運営を指定管理により実施します。また、南林間スポーツ広場、深見歴史の森スポーツ広場の維持管理及び運営は（公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団への委託により行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		31,176
		合 計		31,176

3. 活動内容

活動指標1	名称	利用可能日数（桜森・下福田スポーツ広場）			単位	日
	内容説明	年間の利用可能日数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	359	359	359	
		実 績	359	359	―――	
活動指標2	名称	利用者数（桜森スポーツ広場、下福田スポーツ広場）			単位	人
	内容説明	2施設の合計の利用者数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	35,000	35,000	35,000	
		実 績	34,229	33,274	―――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・指定管理者と連携し、施設利用者が安全・快適に施設を利用できるよう、利用環境の向上に努めます。					

事務事業名	大和スタジアム・つきみ野野球場・宮久保野球場施設管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ環境推進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち	
	施策分野		スポーツ・運動	
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている	
根拠法令	名 称	スポーツ基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和45年度			
				設定無し

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費 (単位：千円)					
大和スタジアム・つきみ野野球場・宮久保野球場			6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）		
		事業費	63,047	63,934	83,114		
		人件費	769	1,606	1,606		
目 的		総事業費	63,816	65,540	84,720		
野球場施設を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供することでスポーツに関わる人を増やします。		8年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金			0		
手段、手法【実施手法：委託・指定管理】		県支出金			0		
		市債			0		
		その他			644		
		一般財源			82,470		
野球場施設の維持管理及び運営を指定管理により実施します。		合 計		83,114			
		3. 活動内容					
活動指標 1	名称	利用者数			単位	人	
	内容説明	3施設年間利用総人数					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定	110,000	110,000	110,000		
		実 績	106,059	108,510	――		
成 果（効果・予測）							
・市民が良好な環境の中で施設を利用できます。		名称	利用可能日数			単位	日
		内容説明	利用可能日数（大和スタジアム）				
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			予 定	307	309	307	
			実 績	313	311	――	
活動指標 2	名称				単位		
	内容説明						
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定					
		実 績					
課 題							
・良好な施設環境保持のため、計画的な維持補修が必要です。		名称				単位	
		内容説明					
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			予 定				
			実 績				
活動指標 3	名称				単位		
	内容説明						
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定					
		実 績					
活動指標 4	名称				単位		
	内容説明						
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定					
		実 績					

4. 今後の方針等						
今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・3施設ともに経年による老朽化が進んでいるため、維持補修及び改修が必要な個所として指定管理者からリストアップされる内容について、緊急性を考慮し計画的かつ効率的な維持管理を進めていきます。					

事務事業名	宮久保スポーツ広場管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課	スポーツ推環境進係	福士 忠生

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		スポーツ・運動		
	めざす姿		スポーツに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	スポーツ基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成20年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
宮久保スポーツ広場		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	5,508	5,510	6,469
	人件費	769	1,606	1,606
目 的	総事業費	6,277	7,116	8,075
スポーツ広場を良好な状態で管理運営し、快適なスポーツ施設環境を提供することでスポーツに関わる人を増やします。 手段、手法【実施手法：委託・指定管理】 ・宮久保スポーツ広場の施設の維持管理及び運営を指定管理により実施します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		6,469
		合 計		6,469

3. 活動内容

	活動指標 1	名称	利用可能日数			単位	日
		内容説明	宮久保スポーツ広場の年間利用可能日数				
		指標値	6年度	7年度（当該年度）	8年度		
			予 定	307	307	307	
成 果（効果・予測）		実 績	307	308	－ － －		
・市民が良好な環境の中で施設を利用できます。	活動指標 2	名称	利用者数			単位	人
		内容説明	宮久保スポーツ広場の年間利用者数				
		指標値	6年度	7年度（当該年度）	8年度		
			予 定	14, 000	14, 000	14, 000	
		実 績	15, 705	16, 779	－ － －		
課 題	活動指標 3	名称				単位	
		内容説明					
		指標値	6年度	7年度（当該年度）	8年度		
			予 定				
・利用者による騒音や駐車場の問題等、住宅に隣接しているスポーツ広場として近隣住民への配慮が必要です。		実 績			－ － －		
	活動指標 4	名称				単位	
		内容説明					
		指標値	6年度	7年度（当該年度）	8年度		
			予 定				
		実 績			－ － －		

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・必要に応じて適切な補修を実施するなど、周辺環境に配慮した施設整備を実施します。また、指定管理者と連携して一層の市民サービスの向上を図ります。					